

海



單韵

是ハ和州三輪の山を小佐右

ひるふと申るゝいづも

以龍樓閣依の水を冬刀々来依

老みとぞ月もきたるけり

いづれも品を破りぬ

乙子次方一

田
ひ
ひ
三
松
の
山
ま
み
も

下 一 下

明くひる遠く城あり

ゆふりむ ^{白雲} 雲ぬらんをみ

つたもまふ人 ^{山影} 山影門は

へをさとも出す ^{月光} 月光地は

ひてりへともみ ^志 志やまは

高弱とち ^な なるは ^や やまは

閑なる山石 ^の のあはれは

な ^ひ ひきき ^も も ^は は

きわ ^き き ^え え ^飛 飛 ^城 城 ^は は ^き き ^う う ^た た ^ひ ひ

外 ^上 上 ^秋 秋 ^を を ^お お ^ま ま ^乃 乃 ^う う ^ち ち ^く く

軒の松風 ^う う ^ち ち ^は は ^松 松 ^の の ^葉 葉

き ^く く ^庭 庭 ^の の ^面 面 ^つ つ ^い い ^む む ^く く ^や や

も ^ち ち ^つ つ ^す す ^下 下 ^梅 梅 ^乃 乃 ^水 水 ^音 音 ^も も ^昔 昔 ^は は

や ^え え ^は は ^つ つ ^那 那 ^る る ^は は ^山 山 ^ひ ひ ^え え ^う う

さ ^ひ ひ ^は は ^あ あ ^は は ^と と ^人 人 ^は は ^あ あ ^は は

さ ^ひ ひ ^は は ^あ あ ^は は ^と と ^人 人 ^は は ^あ あ ^は は

子乃娘も相寒日成らんは
清ね城一重路里らん
子は衣を悉く着んぬくは方冬
ソテくに止せ人ろ
住家冬三粒乃里山もいとちうき
所ちわぞと我菴い三臨北山本
ちひーやハとばもあう所とも

なよーおなはとひ新ふつ義
あ我も不審小おかーめまは
あひお下も ねえおかめ城
あーーとてお外へ出ひ松て
りきさひちもろくに失ふらわ
此の菴をこち出ろくゆきと
能ふく三粒の里をとおわり

山うけのねい 聴もなり 室りわ
 秋お くらわ 大床が 神う 奇を
 何と成るぞ 思議やな
 兄成枝の二本 城う 飛ん ち け
 女人日阿 へん ける 衣乃 ー 呈
 うるや 奇う 見込は ち け も 儀
 けま ー 金龜乃 文字は ち け わ

下巻
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

宿生此もろひをかた人御海を
まろくおりの下勢と志願深寺
感渡日ひそののね我ぬるひろや
りたろー那ろーわりあど人さ
まみえり色ー龍を大いきう
たひもろくわはははははは
人るにあるに神いぬ成神なるの

宿生此度の本便成を志り
迷ひの一人ちろろや女海と
三輪乃神くぢりやりきおひ
ひきろくろ喉ちうまこり着ひ
那ろぢろーるときぬもひたれ
まろくけは影あるうまろく
たろくかろけ那のは事や

夫神代乃サー 物語を求代の
 宿と能為濟度方便のちとわさ
 志願くも修るも能くあなを
 中^{サレ}も成けぬ島いづうやんは
 神力まは五濁乃基まーりる
 志ちーん是引乃大和國日
 年ひさーき夫婦にも濃あり

バーをこー玉核りぬ
 心をたのえきぬふ ち神とも
 是人よりあはく神やひあみえは
 あり能睦語りは力つるなり
 明日よりわ角を月を婚み乃
 是は何と島羽玉乃ふ海なう
 通ひ竹ちぬはりも不審多き事

あわだもゆき冬寒路へ小敷を
あせふやあまのうらみは人老
りふやうぐさも染ハ船一浪
きわたりよりよや土う旗なんぞ
ふち波に海ふまー契もこひ
なむわあわと怒日語も流石
ふきの雪をに帰る所を志すむ

一ノ二
三ノ四
五ノ六

とてを大分きくわたりて
上に是城とも内けて地をはひり
し——うみ越え　まへに東の
ふもとく結ぶ屋や玉藻なす
下力にとろゝ子供衆くらわぬ
行旅よ比山本の神もさやねの
志こえふともまるとらむそめ

神樂をうさへて舞ふこと人を
天照大神を時を磐天をひく
ひくまねへんまふたともや三歳
宮り神て日月ひわくく屋々は
人乃みりくくみゆ家
面白やと神の御弱乃くか
娘の物くく思へん人侍弱と

三輪の神くく一族か乃乃は
くまねへんまふたともや三歳
カ乃ねもあへくくまねまの
告ぐまねやみ強りあへく



